

2024年11月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 秋 川 牧 園  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 秋 川 正  
 (コード番号 1380)  
 問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 部 長 原 田 良 人  
 (TEL 083-929-0630)

2025年3月期 第2四半期（累計）業績予想と実績との差異及び  
 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2024年5月15日に公表いたしました2025年3月期第2四半期累計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）の業績予想における予想数値と比較して、本日公表の実績数値に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向を踏まえ、2025年3月期通期の連結及び個別の業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期連結業績予想数値と実績数値との差異

(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,903	百万円 △17	百万円 10	百万円 △6	円 銭 △1.47
実績値 (B)	3,776	△99	△58	△48	△11.60
増減額 (B-A)	△126	△81	△69	△42	
増減率 (%)	△3.3	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	3,632	47	127	86	20.73

(2) 個別

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,789	百万円 15	百万円 6	円 銭 1.49
実績値 (B)	3,681	△60	△47	△11.42
増減額 (B-A)	△107	△75	△53	
増減率 (%)	△2.8	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	3,630	118	75	18.05

(差異の理由)

売上高につきましては、コロナ禍の終息に伴う宅配特需からの反動減の影響に加えて、実質所得の減

少を背景とした消費者の節約シフトが進んでおり、この間進めてきた値上げの影響も重なり、生産卸売事業及び直販事業の双方で販売が苦戦したため、当初予想を下回りました。

利益面につきましては、上記の売上高未達のマイナス要因に加えて、在庫水準の調整に伴うミート工場及び冷凍食品工場の生産性の低下、鶏卵の販売減に伴う需給バランスの悪化等により当初予想を下回りました。

## 2. 2025年3月期 通期連結業績予想の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

### （1）連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 8,050	百万円 85	百万円 125	百万円 80	円 銭 19.21
今回修正予想（B）	7,810	△11	35	3	0.84
増減額（B－A）	△239	△96	△90	△76	
増減率（%）	△3.0	－	△72.0	△95.6	
（ご参考）前期実績 （2024年3月期）	7,392	11	153	98	23.58

### （2）個別

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 7,830	百万円 100	百万円 65	円 銭 15.67
今回修正予想（B）	7,610	45	20	4.89
増減額（B－A）	△219	△55	△44	
増減率（%）	△2.8	△54.7	△68.8	
（ご参考）前期実績 （2024年3月期）	7,381	129	89	21.53

#### （修正の理由）

通期の業績予想につきましては、売上高は消費者の節約シフトが進んでおり、当初の予想を下回る見込みであります。

利益面につきましては、上半期の業績の下振れ要因に加えて、上記の売上高要因や、在庫水準の調整に伴う冷凍食品工場の生産性の低下、中国事業の販売の苦戦などにより、当初予想を下回る見込みであります。

下半期におきましては、飼料価格が10月から値下げに転じたというプラス要因に加えて、卸販売及び直販の双方における販売強化及び値上げの浸透、各工場の生産性向上など、様々な取り組みを精力的に進め巻き返しを図ってまいります。

以 上